

【2026 年 9 月 17 日】
朝の読み聞かせ報告

【絵本のタイトル】

2-1

- ・おこだでませんように
- ・へなちょこ

【クラスの様子】

読み終えたあと、主人公と同じような思いをしたことがある子どもたちが何人かいたようで、それぞれに自分の経験を話してくれました。

その中で、親や先生など、周りの大人が子どもの行動の背景にある事情や気持ちに気づいてくれない時、素直に気持ちを伝えることが難しいときには、お手紙などで伝える方法もあることを話しました。

そして、大人も素直に謝ることが難しいときがあるよ。と話すと、子どもたちから「大人も大変やもんな～」という言葉も聞かれました。

自分の経験や気持ちを重ねながら、しっかりと話を聞いてくれる子どもたちの姿が印象的で、私もとても心に残る読み聞かせとなりました。



【2016 年 9 月 12 日】

朝の読み聞かせ報告

【絵本のタイトル】

〈1 年 1 組〉

- ・しばらく赤ちゃんになりますので
- ・くだものなんだ

〈2 年 1 組〉

- ・じめんのしたにはなにがある？
- ・はしれ、ゴールのむこうまで！

〈3 年 1 組〉

- ・おろしてください
- ・星空のシロ

【クラスの様子】

〈1 年 1 組〉

子どもたちは今日も元気いっぱい、「今日はなんの絵本持ってきたん？」と、ワクワクした表情で迎えてくれました。

1 冊目は『しばらくあかちゃんになりますので』を読みました。

「お姉ちゃんも、お母さんも、お父さんも、大人も、たまには赤ちゃんになって休みたいときがあるよね。でも、そういうわけにはいかないよねえ」というお話です。

子どもたちにも「赤ちゃんになってみたい？」と聞いてみましたが、意外にも「なりたくない！」という子が多く、微笑ましい反応でした。

2 冊目は『くだもの なんだ』を読みました。

切り口の絵を見て、何の果物なのかを当てるクイズ形式の絵本です。
こちらはみんなとても積極的で、次々と手を挙げて答えてくれました。

今回も子どもたちの元気な反応をたくさん見ることができ、楽しい読み聞かせの時間になりました。

〈2 年 1 組〉

読み聞かせが始まる前は、連絡帳を書いたり、少しざわざわしている子もいましたが、時間になって読み進めていくにつれて、自然と手を止め、顔を上げて絵本を見てくれていました。

『じめんのしたにはなにがある？』では、ページをめくるたびに「えー！」と声上がり、子どもたちの反応がとても良かったです。

その反応がこちらにも伝わってきて、私自身も楽しく読み聞かせをすることができました。

〈3 年 1 組〉

今回は子どもたちから怪談絵本のリクエストがあったため、カーテンを閉め、照明も消して読んでみました。

怖がるというよりは、興味津々に楽しんでいる様子で、怖いお話も3年生になると少し余裕が出てくるのかな、と感じました。

少し時間が残ったので、実際にあったお話として『星空のシロ』についてもお話ししました。

生き物が苦しむ実験が行われている施設が実際に存在すること、現在ではそのような施設をなくしていく方向に進められていることなどをお話し、「とても残念なことなので、こうした施設がなくなっていくように、みんなも意識していけたらいいね」と伝えました。

怪談で楽しんだ後、少し考える時間にもなった読み聞かせとなりました。

【2016 年 9 月 3 日】
朝読書読み聞かせ報告

【絵本のタイトル】

〈1 年 1 組〉

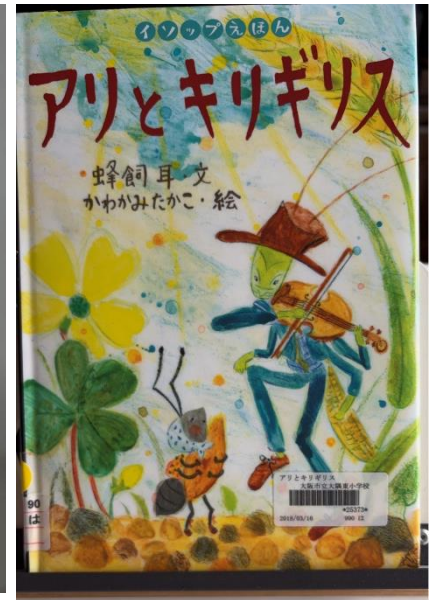
- ・まてまてタクシー
- ・あめのひのおはなし
- ・はしれ、ゴールのむこうまで！

〈2 年 1 組〉

- ・アリとキリギリス

【クラスの様子】

〈1 年 1 組〉



「はしれ、ゴールのむこうまで！」という絵本は、一年生で初めての運動会を迎える、かけっこが苦手な子どもの心境を描いたお話です。

これから初めての運動会を迎える子どもたちにとって、とても身近に感じられるお話だったのか、最後まで一生懸命に耳を傾けてくれました。

読み終わった後には、子どもたちから「わー」「はあー」と、思わずため息がこぼれるほど、物語に入り込んで聞いてくれている様子が伝わってきました。

〈2 年 1 組〉

読む前に「キリギリスって知ってる？」「昆虫を飼ったことある人～？」など、子どもたちに問いかけながら読み始めました。

読み終わった後には、「アリは暑い時になぜ一生懸命働くの？」と問いかけると、子どもたちからはさまざまな答えがでてきました。

9 月に入ってもまだまだ厳しい暑さが続いている中、外で遊ぶ時には熱中症に気をつけるなど、子どもたちなりに暑さへの対応をしている様子も感じられました。

暑さについても自分たちで考え、気をつけて行動している子どもたちの姿が素晴らしいと感じました。